



〈自分（たち）でつくるみんなの学校 ～日本一美しい学校を目指して～〉

成美っ子

学校だより 令和5年度 1月特別号

「令和6年が幕を開けました。一人一人が、命を大切にし、
毎日を一生懸命に生きてくれるようにと、願います」

校長 原野 恵子

新年の幕開けと同時に、能登半島地震という激甚災害が待ち受けていました。穏やかな晴れの日、このような暗転が待ち受けていようとは、誰が考えたことでしょう。

被災されました皆様方には、衷心よりお見舞い申し上げます。併せて、一日も早い復旧と復興をお祈りいたします。

保護者の皆様には、旧年より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。この度の避難所開設につきましても、保護者や地域の皆様には、いち早く避難し、運営に協力される姿がありました。悲しく不安な時間でしたが、一方では、我が成美校区は昭和30年に作成された校歌のごとく「いざともにすこやかに 世に尽くすべし」という報徳の精神を体現する地域であると、胸を熱くしながら対応にあたらせていただきました。本当に感謝しております。ありがとうございました。

本年も、職員一同、よりよい教育活動を実施できるように努力いたします。引き続き、ご理解とご協力をいただきますように、何卒よろしくお願いいたします。

3学期開始日であり、141回目の創校記念日である9日、1年生から6年生までの元気な成美っ子たちが体育館に集まり、始業式を行うことができました。「命を大事にすること」「毎日を一生懸命に生きて、力を付けていくこと」の大切さを話しました。「美を成す」を理念とする本校は、学校教育目標の3つの柱として「かしこく・つよく・美しく」を掲げて取り組んでいます。式辞では、改めて以下の目当てで取り組むことを話しました。

かしこく：○よく聞いて、よく考えて、よく書いて、互いに伝え合おう。

つよく：○運動、早寝・早起きをしよう。

美しく：○気持ちのよい挨拶をしよう。 ○黙働清掃に励もう。

「努力した成果は、3か月後に形となって表れる」と言われます。3か月後である4月に、自信をもって進学、進級し、楽しく学校生活を送れるようにと、願います。

始業日の各教室の黒板には、担任からの心を込めたメッセージが書かれています。

保護者の皆様には、「今日は、どんなことを考えたの？」等と、毎日お子さんに話しかけ、自分の成功談や失敗談等を語っていただくことが、子供たちが目標に向かって進むための大きなヒントになります。子供たちの「やる気の炎」は、家族によってより大きくなります。今後とも、ご支援をお願いいたします。



【3学期の始業式の様子】